

## 乳がん検診を 受けられる方へ

コロナワクチン接種後に、反応性リンパ節腫脹のみられる例が2%程度（100人中2人）報告されています。乳がん検診では、リンパ節腫脹がみられた場合、精密検査が必要と判断されることがあります。よって、乳がん検診（マンモグラフィ・乳腺エコー・乳腺MRI）はワクチン接種前に施行するか、コロナワクチン接種後少なくとも6～10週間の間隔をおいてから施行することが望ましい、とされています。

すでにコロナワクチン接種と乳がん検診をご予約されている方はご相談ください。

（ただし、要件により調整が難しい場合がありますので  
ご了承ください）

上記期間中でもご本人の意思により検査を受けていただくことは可能です。